

[協働事業の企画書概要]

事業名	生涯学習センターホール・リフォーム検討プロジェクト（仮称）
事業主体	市役所（行政サイド）の然るべき部署に担当を設ける
事業の概要	『どういう問題を解決しようとしていますか？』 実質棚上げ状態にある「芸術文化ホール」建設計画を促進する。 生涯学習センターホールのリフォームについて具体案を市民参加で検討し、立案答申する。 （市民の中から専門家・有識者・利用者代表を公募し検討プロジェクトを編成する）
どういう主体と協働するのがよいと考えていますか？	主体A：行政の担当（可能であれば専任窓口を設ける） 主体B：公募による専門家グループ（建築設計、音響、音楽） 主体C：公募による利用者代表（音楽愛好家、音楽関係団体代表）
協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか？	主体A：実現可能な投資規模を考え、プロジェクトを取りまとめる ----- 主体B：複数の投資規模に対し実現可能なリフォーム案を提示する ----- 主体C：利用者の立場から実現可能な妥協案を考える
その他	（現状認識） 建設当時は近隣市町にも誇りうる立派な施設であった生涯学習センターホール（旧・中央文化会館）も、「芸術文化ホール」建設計画の影で取り残された形で、機能面での改善は殆ど行われず、今やその機能は近隣市町のなかでも最低のランクに位置するようになってしまいました。 市内には音楽愛好家も多く、皆が音楽ホールの実現を切に望んでいる所ありますが、現実には生涯学習センターホールの劣悪な音楽環境に絶望し、殆どの演奏活動を近隣市町のホールで行っているという誠に残念な状況にあります。